

# 川口いきもの調査の手引き

2025年3月

川口市

## ～はじめに～

この調査は、みなさんからお寄せいただいたデータを活用し、市内の自然や生きものの保全を図るとともに、調査に参加することにより、身の回りの生きものについて、多くの方々に興味や関心を持ってもらうことを目的に行います。

## ～服そうや持ち物について～

### ◇服そう

ぼうし

ながそで、ながズボン

うんどうぐつ（はきなれたある歩きやすい靴）

リュックサック

### ◇持ち物

ちょうさいんしょう

かわぐちいきものちょうさてび

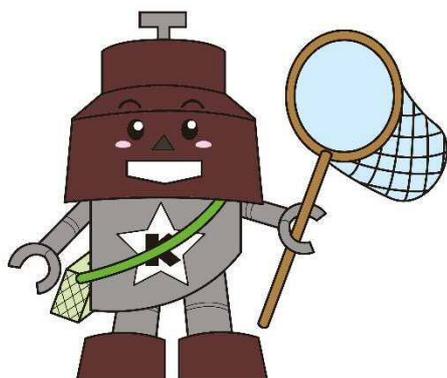
ちょうさひょう

ひっきようぐ

すいとう・ペットボトル

カメラ（スマートフォン）

タオル



## ～調査する生きものについて～

この調査は指標生物10種類（アオサギ、カワセミ、ニホンカナヘビ、ニホンアマガエル、ギンヤンマ、ジャコウアゲハ、クマゼミ、ナミテントウ、コカマキリ、タンポポの仲間）を含むすべての動植物を対象とした生きもの調査です。指標生物とは、生息する地域の環境条件の判定に用いられる生物のことを指します。

### アオサギ サギ科



提供：平川 幹典さん

見られる時期：1年中

見られる場所：河川敷、池沼、田んぼなど

日本で見られるサギ科の中でも大型のサギ類で、河川や田んぼなどの水辺でよく見られます。動物食で魚類や両生類を食べますが、鳥のヒナや小型のほ乳類を食べることもあります。

### カワセミ カワセミ科



提供：和田 一彦さん

見られる時期：1年中

見られる場所：河川敷、池沼、用水路など

長くちばし、オレンジ色の腹、頭から尾にかけて背面が鮮やかな青色の鳥です。漢字で「翡翠」と書き、その美しい姿から「飛ぶ宝石」とも言われていますが、捕らえた魚を岩などに叩きつけてから丸のみにするという豪快な一面もあります。

## ニホンカナヘビ カナヘビ科



提供：長 恵子さん

見られる時期：4月～11月  
見られる場所：草原、民家の庭先など  
光沢のないザラザラとした鱗と長い尻尾が特徴。低地から低山の草原や雑木林に生息しています。昼行性で、暖かい日には、石や葉の上で日向ぼっこをする姿がよく見られます。鳥やヘビなどに襲われたときは、自ら尻尾を切断して天敵から逃げます。

## ニホンアマガエル アマガエル科



提供：宮澤 文策さん

見られる時期：4月～10月  
見られる場所：河川敷、池沼、田んぼなど  
雨が近づくと、オスはアゴの下の袋を膨らませて、鳴き声を発します。また、周囲の環境に合わせて体の色を変える習性があります。皮膚の粘膜には弱い毒性があるため、さわった後は必ず手を洗いましょう。

## ギンヤンマ ヤンマ科



提供：須崎 昇さん

見られる時期：5月～10月  
見られる場所：池沼、田んぼ、用水路、学校のプールなど  
体長6.5～8cmの大型のトンボで、飛翔速度は昆虫の中でも最速とされています。流れのない水辺や流れのゆるやかな水路を好み、学校のプールなどでも見かけることができます。

## ジャコウアゲハ アゲハチョウ科



提供：吉野 修弘さん

見られる時期：5月～9月  
見られる場所：河川敷、林縁、公園など  
オスは黒色、メスはベージュ色をしたアゲハチョウの仲間で、オスの成虫からは麝香の香りがすることからジャコウアゲハと名付けられています。幼虫期に有毒であるウマノスズクサを食草とし、体内に毒をためることで鳥などの天敵から身を守っています。

## クマゼミ セミ科



提供：菅野 正信さん

見られる時期：7月～9月  
見られる場所：公園、街路樹、住宅地など  
羽は透明で黒色のがっしりした大型のセミです。本来、クマゼミは温暖な地域に生息していましたが、近年は関東地方でも確認されていて、地球温暖化による影響ともいわれています。

## ナミテントウ テントウムシ科



提供：高瀬 雅陽さん

見られる時期：3月～11月（冬場は冬眠）  
見られる場所：河川敷、草原、公園など  
幼虫も成虫もアブラムシを食べます。別種と勘違いするほど、さまざまな色や模様の子体が存在します。  
ナナホシテントウは単体（または数頭）で越冬することに対して、本種は集団で越冬する習性があります。

## コカマキリ カマキリ科



提供：小林 漣さん

見られる時期：8月～11月  
見られる場所：河川敷、公園、雑木林など  
体長4～6cmほどの小型のカマキリで、  
前脚の内側には白と黒の模様があります。  
緑色型と褐色型の2種類が見られます  
が、緑色型の個体は少ないです。卵鞘は  
樹皮や石の隙間に産み付けるため、見つけ  
にくくなっています。

## タンポポの仲間 キク科



提供：白野 綾子さん

見られる時期：  
・在来タンポポ 3月～5月  
・セイヨウタンポポ 3月～11月  
見られる場所：河川敷、公園、道端など  
黄色い花を咲かせ、綿毛のついた種子を作る  
花です。花は朝になると開き、夕方になると閉  
じてしまいます。  
在来のタンポポは花びらの付け根にある総苞  
片が閉じているのが特徴で、春に開花しま  
す。セイヨウタンポポは日本で見かけられる  
外来タンポポの総称です。総苞片が反りかえ  
っているのが特徴で、繰り返し開花します。

## ちょうさ なか ～調査の流れについて～



### ◇ちょうさいんとうろく 調査員登録について

①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号 ⑤パソコンなどのメールアドレス (任意) ⑥いきものログユーザー名 (いきものログを利用するか) を記入の上、郵送、FAXまたは電子メールで、自然保護対策課まで申し込みください。

登録完了後、手引き・調査員証・調査票を送付いたします。

### ◇ほうこくほうほう 報告方法について

#### (1) 調査票 (紙など) で報告する方法

必要事項 (見つけた生きもの名前や日付、場所、数) を記入し、

郵送やFAX、電子メールなどで自然保護対策課まで提出してください。

市ホームページから調査票 (参考様式) をダウンロードすることもできます。

写真がある場合は一緒に提出してください。

また、生きもの名前がわからない場合でも、大きさや色などの

特徴を絵に描いて報告することができます。

## (2) 「いきものログ」で報告する方法

「いきものログ」とは、環境省が運用する生きものの情報を収集・管理するインターネット上のシステムです。パソコンまたは専用のアプリをダウンロードしたスマートフォンから登録・報告が出来ます。

登録方法は以下のとおりです。

- ① 「いきものログ」に個人でユーザー登録をする。
- ② 自然保護対策課に、いきものログを利用する旨を連絡し、登録したメールアドレスを伝える。
- ③ 自然保護対策課から、団体登録をするための招待メールが届く。
- ④ 招待メールに記載されている URL にアクセスし、マイページのお知らせが届くメッセージから、団体に「参加する」ボタンをクリックする。  
⇒登録完了

※ 「いきものログ」の詳細については、

「いきものログ」HP (<https://ikilog.biodic.go.jp/>) をご覧ください。

## ちょうさきかん ～調査期間について～

2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

（報告は2026年4月30日（木）までに提出してください。）

ちょうさけっか  
調査結果はホームページなどに掲載する予定です。

## ちょうさ さい き ～調査の際に気をつけること～

◇身近な自然にも、危険な生きもの（ハチやヘビなど）が、たくさん  
潜んでいます。草むらや林の中で調査するときは、気をつけて  
行動しましょう。

◇川や用水路、池などの危険な場所には近づかないでください。

◇民家や畑などに勝手に入るのはやめましょう。入るときは、必ず  
所有者の方に許可を取ってください。

### 問い合わせ（送付先）

川口市 環境部 自然保護対策課

〒332-0001 川口市朝日4-21-33

（朝日環境センター・リサイクルプラザ棟3階）

電話 048-229-6735 FAX 048-224-5304

E-mail 090.02510@city.kawaguchi.saitama.jp

